

正しく動き、美しくつながり、強く創り出す「未来を生き抜く力」を育成する学校



「たい」のあられる時津小



↑こちらからも↑

令和5年 6月29日(木) 発行人：校長 森内 秀学

人は、人を浴びて人になる

この言葉は、精神科医 夏苅郁子先生の有名な言葉ですが、今週は、それを感じる様々な出来事がありました。トピックでご紹介しましょう。



素敵な読み聞かせボランティア～ひまわり～

子どもを読書好きにする最も効果的な取組の一つに、「読み聞かせ」があります。写真は、本校の読み聞かせボランティア「ひまわり」のみなさんの、読み聞かせの様子。普段は元気な子どもたちがじっと聞き入る様子を見てみると、人が人のために気持ちを込めると、思いは伝わるということを実感しました。

4年ぶりの開催～地区PTA～

「学校・家庭・地域が連携して子どもを育てましょう」とは言いますが、新型コロナのまん延は、その連携の場を奪い続けてきました。そんな中、ようやく4年ぶりに開催されたのが、地区PTA。膝を交え、子どもの様子を語り合ったり地区の安全整備の歴史などを伺ったりした時間は、教員にとっても貴重なものとなりました。



ありがとう原沙希先生～今日から産休～

4年1組の原 沙希 先生が、6月29日から出産に向けた産休に入りました。日に日に大きくなっていくお腹は、子どもたちにとって、命を学ぶ何よりの教材でした。いつも以上に張り切って手を挙げる子どもたちの姿は、原先生にエールを送っているように見えました。みんなで、無事の出産を祈りたいと思います。

ちなみに、代替の教員はまだ決まっておられませんので、それまでは教頭の佐藤 健司が担任を務めます。本人は、とても嬉しそうです。どうぞ、よろしくお願いいたします。

ようこそ時津小へ～事務職員 高橋 久信 先生～

6月26日から、新しい事務職員が仲間入りしました。高橋 久信 (たかはし ひさのぶ) 先生です。体育館で行った自己紹介では、不自由な耳を補い、手話で思いを伝える姿に、子どもたちは興味津々。早速昼休みは、手話を学ぶ子どもたちでいっぱいになりました。

